

「食と農」の博物館 展示案内

No.46
東京農業大学「食と農」の博物館
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀2-4-28
TEL.03-5477-4033 FAX.03-3439-6528

開館時間 午前10時～午後5時(4月～11月)
休館日 午前10時～午後4時30分(12月～3月)
月曜日(月曜が祝日の場合は火曜)・毎月最終火曜日
大学が定めた日(臨時休業がありますのでご注意ください)

展示期間
2010.3.26～5.9

世界につながる東京農大 ～海外姉妹校交流展～



はじめに

2009年4月6日に東京農大は、アフリカ・タンザニア・ソコイネ農業大学と学術協力協定を締結しました。これにより、本学の海外姉妹校は、20校となりました。今年4月にはソコイネ農業大学から2名の学生が本学に入学し8月には本学の学生1名がソコイネ農業大学に長期留学します。

東京農大の国際活動は、創設者榎本武揚子爵の経歴にまで遡ると言えます。榎本子爵は、徳川幕府が派遣した最初の国費留学生5名のうちの1人で、オランダで5年間も近代学問を学び、帰国後は多くの難局を乗り越えて、明治政府の外務大臣を含む要職を歴任しました。榎本子爵

は、日本の農業・農村の振興のみならず、広く世界の地域農業の発展に尽力し、人類の繁栄を期す精神が本学の伝統となっております。

今日の本学における国際交流・国際戦略は、世界の主要農学系大学との教育、研究、国際開発分野での協力活動の推進です。教育目的の学生派遣・受入(長期、短期)、研究目的の教員派遣・受入(長期、短期)、発展途上国での農業教育開発への協力活動など、多方面で多様な国際プログラムを展開しています。

今回の特別展では、3月に実施したソコイネ農業大学視察団の報告を中心に本学の国際交流活動をご紹介します。

(東京農業大学国際協力センター)

タンザニア視察報告

タンザニアについて

タンザニア連合共和国は、南緯1～12°の東アフリカに位置し、アフリカ大陸側のタンガニーカと島嶼ザンジバルからできています。国土面積は、日本の約2.5倍にあたる94.5万km²、人口は約4,000万人、約130民族から構成されています。宗教は、600年頃から交易していたアラブ商人が伝えたイスラム教が40%、ドイツやイギリスの統治下で布教されたキリスト教も40%に及んでいます。また、残りの20%は、伝統宗教で占められています。一方、事実上の首都は、ダル・エス・サラームで(法律上はドドマに移ったが、政府機関や外国公館はダル・エス・サラームに留まっている)、ここにあるニエレレ国際空港まで日本からは関西空港―ドバイ経由で約14~16時間を要します。インド洋に面した海岸地帯のダル・エス・サラームなどでは、平均気温(30℃前後)と湿度が高く、内陸部では平均標高が1,200mであるため、平均気温は20℃前後と比較的冷涼な気候です。国語はスワヒリ語に統一され、公用語としては、英語が使われています。



ソコイネ農業大学モロゴロキャンパス

東京農業大学とソコイネ農業大学

2009年4月6日、タンザニア連合共和国のソコイネ農業大学・学長が東京農業大学を訪れ、両校は姉妹校協定を結び、ソコイネ農業大学は、アフリカ大陸初の本校20番目の姉妹校となりました。2010年3月現在、東京農業大学には、タンザニアの大学院生2名が国際農業開発学専攻に在籍しております。この4月には、2名の学部交換留学生(1年次入学)と大学院生(博士

前期課程1年)1名が来日し、それぞれ国際バイオビジネス学科、国際農業開発学専攻に在籍します。さらに8月には、本学の学生1名がソコイネ農業大学に長期留学します。

今回の視察

東京農業大学の6学部より各1名の教員と国際協力センターより2名の事務職員の総計8名の視察団が、本年3月2日より10日まで、ソコイネ農業大学に派遣されました。ソコイネ農業大学は、4学部と22学科、各附置機関から構成され、東京農業大学と同様な学科を有しています。視察団は、まず、メインキャンパスのあるモロゴロ市を訪問しました。同市はダル・エス・サラーム市内から車で3時間ほど西方の内陸部に入った地方都市です。当日は、途中、13～15世紀に作られたアラブ人の住居跡や墓地のカオレ遺跡のあるバガモヨ経由でモロゴロ市に入りました。

翌日のモロゴロキャンパスでは、午前中にソコイネ農業大学・学長のモネラ教授より歓迎の挨拶があり、大学概要の説明後、午後からは各団員の関連学科での見学およびスタッフ間の交流を行いました。翌日、森林関連学科の学生実習のためのエコセンターのあるルショト・マズンバイ森林保全地区に一日かけて移動し、その概要説明を受け、翌朝、板根のある大木を観察しました。ルショトはダル・エス・サラームから北東、標高約1,400mの山の中腹にあり、マズンバイは更に標高の高い奥地にあるため送電施設が整備されておらず、エコセンターの電源はソーラーとジェネレーターで賄われています。この森林保全地区には、生物学的に重要なアフリカバイオレット、エンセーテ(アビシニアバナナ)などの植物が生育し、コロンバ



人の背丈よりも大きな板根



ンゴロンゴロクレーター内に生息するシマウマ

スモンキーなどの野生動物も多く生息しています。

次に訪れたモシ市は、キリマンジャロコーヒーの産地として、またキリマンジャロ山(5,892m)への登山基地として有名な場所です。モシ市ではソコイネ農業大学のアグリ・ビジネス関連のカレッジを訪問し、学部長よりキャンパスの概要説明を受けました。その後、ローアモシ灌漑農業プロジェクトの作付けされた田んぼと、今年度入学する留学生の職場である国際協力機構(JICA)のキリマンジャロ農業研修センター(KATC)を見学し、アルーシャ市にあるソコイネ農業大学のオルモトニ森林実習センターで宿泊しました。アルーシャ市は富士山よりも高いメルー山(標高4,566m)の麓に位置し、世界遺産のンゴロンゴロ自然保護区から比較的近隣であるため、翌日の日曜日にこのンゴロンゴロ・クレーターと野生動物の観察も行いました。ンゴロンゴロ自然保護区は南北約16km、東西約19kmの総面積264km²のクレーターとその周辺の外輪山からなり、このクレーター内にはキリン(クレータの外に生息している)とインパラを除く東アフリカで通常多く見られる野生動物が住んでいます。その日は再び

アルーシャ市の森林実習センターに宿泊し、翌日、キリマンジャロ山を眺めながら、また一日かけてソコイネ農業大学のあるモロゴロ市まで戻りました。視察最終日午前中には、再度ソコイネ農業大学の学長、学部長、学科長の先生方と今後の更なる交流に向けての会議を行い、午後には農業理学部のあるソロモン・マラングキャンパスを訪問後、全視察日程を終了し、翌日、帰国の途に着きました。



アルーシャから見たキリマンジャロ

今後の展開

学生交流の面では、昨年本学で開催された学生サミットにおいて、既にソコイネ農業大学の学生が来日し、発表を行っています。また、交換留学生も双方に派遣される事が決定しています。今後は、両大学にステアリングコミッティー(運営委員会)を設置し、大学スタッフ間の研究交流についても進めて行く予定です。

今回の展示では、ソコイネ農業大学関連の資料、タンザニアの生産物、民族工芸品、ティンガティンガ絵画等を、派遣時の写真を交えて紹介致します。




視察団を温かく迎えてくださったソコイネ農業大学の先生方とともに


東京農業大学 海外姉妹校紹介

昨年4月にタンザニア・ソコイネ農業大学が加わり、東京農業大学の姉妹校は19カ国・地域の20大学となりました。それぞれの大学と学術交流、学生交流を実施しています。


アメリカ合衆国 ミシガン州立大学 Michigan States University

	アメリカ北東部の5大湖に囲まれたミシガン州イーストラシニング市に位置し、1855年当時の連邦政府から農業系単科大学として校地を譲渡されたアメリカ最初の大学。	創立 1855年 教員数 2,705名 学生数 42,603名 学部等 農学部をはじめ14学部48学科及び大学院14専攻
☆東京農業大学との関係☆ 1966年(昭和41年)1月12日協定締結		派遣学生は120名を超え、今年度も2名長期留学する


タイ王国 カセサート大学 Kasetsart University

	農学分野の研究においては、タイ国で1番古い歴史と伝統を誇り、農業とその関連分野へは多くの人材を輩出している。キャンパスは、バンケン(バンコク市内)とキャンベンセン(バンコク市の西80キロ)にある。	創立 1943年 教員数 1,885名 学生数 20,064名 学部等 農学部をはじめ11学部及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 1988年(昭和63年)6月9日協定締結		短期派遣と受入れを毎年実施 今年度も1名長期留学する


カナダ国 ブリティッシュコロンビア大学 The University of British Columbia

	1,000エーカー(約400人類歴史博物館、新渡戸記念庭園、スポーツ施設、病院、宿泊施設などの充実した教育施設が設けられている。	創立 1905年 教員数 1,480名 学生数 8,082名 学部等 農学部、林学部のほか応用科学部、教育学部、医学部など11学部と大学院10研究科
☆東京農業大学との関係☆ 1988年(昭和63年)7月20日協定締結		春と夏に語学研修として学生を派遣


中華人民共和国 中国農業大学 China Agricultural University

	1995年に北京農業大学を母体校にして、北京農業工程大学と合併して出来た大学。中国北京市北西の郊外に位置し、大学キャンパスの面積は200ヘクタール。農場土地面積1,600ヘクタールを有する。	創立 1908年 教員数 1,870名 学生数 31,331名 学部等 農学部、林学部ほか応用科学部、教育学部、医学部など12学部と大学院10研究科
☆東京農業大学との関係☆ 1988年(昭和63年)8月22日協定締結		短期派遣と受入れを毎年実施 今年度も1名長期留学する


台湾 国立中興大学 National Chung Hsing University

	台湾を代表する総合大学。農業試験場、園芸試験場、4つの林場(演習林)、食品加工廠、畜牧場、家畜医院、農業機械工廠、土壌調査試験センター、農業自動化センター、農業委員会などの施設を併設している。	創立 1961年 教員数 980名 学生数 14,625名 学部等 農学部、理学部、商業、法学部、文学部及び工学部
☆東京農業大学との関係☆ 1992年(平成4年)6月11日協定締結		短期派遣と受入れを実施 今年度も2名長期留学する


インドネシア共和国 ボゴール農科大学 Bogor Agricultural University

	首都ジャカルタから約60キロに位置している。長い歴史を持ち最も有名な国立の農業大学。世界的にも有名な植物園があり、広い敷地の中に伝統を生かした建物が点在する好環境にある。	創立 1963年 教員数 1,299名 学生数 12,708名 学部等 農学、獣医学、畜産学、林学、水産学、農業工学、理数学の7学部及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 1996年(平成8年)8月2日協定締結		現在1名長期留学中


モンゴル国 モンゴル国立農業大学 Mongolian State University of Agriculture

	1942年にモンゴル国立大学に獣医学部が創立され、それが現在の母体。ウランバートル市ザイサンにある。11の附属研究所の他に360ヘクタールの附属農場もある。	創立 1991年 教員数 300名 学生数 6,700名 学部等 畜産学部、獣医学部、農業生産工学部、農学部、基礎教育学部、農業経済学部の6学部
☆東京農業大学との関係☆ 1996年(平成8年)8月2日協定締結		


ペルー共和国 ラモリーナ国立農業大学 La Molina National Agrarian University

	メインキャンパスは、ペルーの首都リマから程近い15キロ離れたラ・モリーナ地区に位置する。254ヘクタールの大学キャンパスには、研究実験棟、講義棟が点在し、運動グラウンドなどの施設も充実している。	創立 1901年 教員数 495名 学生数 4,100名 学部等 農業工学、生物学、林業工学、経済学、環境工学、食品工学、水産工学、畜産工学の8学部及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 1996年(平成8年)8月12日協定締結		


フィリピン共和国 フィリピン大学ロスバニオス校 University of the Philippines Los Banos

	首都マニラの南約60キロに位置し、東南アジア農学系大学院教育研究センターが置かれ、東南アジアの大学院教育・研究の中核機関として多数の研究者を送り出している。	創立 1909年 教員数 3,732名 学生数 8,811名 学部等 農学、文理学、経済・経営学、農業工学、林学、人類生態学、獣医学の7学部及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 1996年(平成8年)9月11日協定締結		今年度1名長期留学する


大韓民国 国立慶北大学 Kyungpook National University

	ソウルから南 320 キロの人口 250 万の韓国 3 番目の大都市大邱 (テグ) にある。国際交流が活発で、世界 13 ヶ国の 28 大学、13 の研究機関との交流協定を締結している。	創立 1952 年 教員数 515 名 学生数 20,465 名 学部等 農学部はじめ 13 学部及び大学院 7 専攻
☆東京農業大学との関係☆ 1998 年 (平成 10 年) 4 月 28 日 協定締結		


イスラエル国 ヘブライ大学 The Hebrew University of Jerusalem

	イスラエルにある 6 つの大学の 1 つでイスラエルの最大の大学。イスラエルで唯一、農学系を設置。農学系キャンパスは、テルアビブ南 20 キロの平地のレホボットにある。	創立 1956 年 教員数 1,390 名 学生数 24,537 名 学部等 農学系 10 学科の他に文科系、自然科学系
☆東京農業大学との関係☆ 1998 年 (平成 10 年) 9 月 28 日 協定締結		


ベトナム社会主義共和国 ハノイ農業大学 Hanoi University of Agriculture

	農業研究・教育の中心の地位にあり、農学系大学の指導的役割を担っている。	創立 1956 年 教員数 500 名 学生数 7,900 名 学部等 作物学、畜産・獣医学、農業工学・機械学、農業経済・地域開発学、土壌水資源管理学、改良普及学、人文社会学及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 1998 年 (平成 10 年) 11 月 19 日 協定締結		


ブラジル連邦共和国 サンパウロ大学 University of Sao Paulo

	サンパウロ州ピラシカーバ市のメインキャンパス (914.5 ヘクタール) のほか、州内に 2 キャンパスがあり、農学部は南米有数の農学部である。	創立 1934 年 教員数 5,056 名 学生数 55,979 名 学部等 農学、工学、法学医学、哲学、薬学歯学、獣医学、公衆衛生学、建築学・都市計画学、教育学、経済学・経営学、畜産学・食品工学
☆東京農業大学との関係☆ 2001 年 (平成 13 年) 2 月 22 日 協定締結		


メキシコ合衆国 チャピング自治大学 Chapingo Autonomas University

	テスココ・キャンパス (メキシコ州) に農学部を置く。代表的な研究開発プログラムに、とうもろこし、豆科食用作物、乾燥地農業資源開発、油料作物、トマトのオートメーション栽培、などがある。	創立 1854 年 教員数 1,100 名 学生数 6,200 名 学部等 農業経済学、灌漑学、作物生態学、農業寄生虫学、農村社会学、土壌学動物学、森林科学、林産工学、農産工学、農業機械学、農業普及など 11 学科
☆東京農業大学との関係☆ 2001 年 (平成 13 年) 7 月 16 日 協定締結 現在 1 名長期留学中		


ウクライナ共和国 ウクライナ国立農業大学 National Agricultural University of Ukraine

	政府直轄の農学系高等教育研究機関であり学内に多数の研究機関施設を持つ。	創立 1898 年 教員数 900 名 学生数 19,000 名 学部等 農学、農芸化学・土壌学、農業経営、獣医学、植物防疫、畜産学、土地管理、林学、農業機械工学など 30 学科及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 2003 年 (平成 15 年) 9 月 19 日 協定締結		


マレーシア国 マレーシアプトラ大学 Putra University, Malaysia

	クアラルンプールから 22 キロ離れたマレーシアのシリコンバレーと呼ばれる Multimedia Super Corridor (MSC) 地区に位置する。	創立 1971 年 教員数 1,739 名 学生数 29,908 名 学部等 農学、林学、獣医学、環境科学研究、食品科学・バイオテクノロジー等 13 学部及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 2004 年 (平成 16 年) 3 月 16 日 協定締結 現在 1 名長期留学中		


フランス共和国 フェイシア Fédération des Ecoles Supérieures d'Ingénieurs en Agriculture

	農業を専門とする 4 大学、ピュルバン農業グランゼコール、アンジェ農業グランゼコール、リール農業グランゼコール、ローナルブ農業グランゼコールから構成されたコンソーシアム。	創立 1984 年 教員数 190 名 学生数 4,500 名 学部等 研究所及び学部数 30
☆東京農業大学との関係☆ 2004 年 (平成 16 年) 6 月 16 日 協定締結		


オランダ王国 ワーヘニンゲン大学 Wageningen University

	ライフサイエンスの分野でヨーロッパ有数の大学。オランダで唯一農水省直轄の大学で国内各地の農業試験場を傘下に置く。	創立 1873 年 教員数 700 名 学生数 5,000 名 学部等 農業・環境生産工学システム、畜産学、生体分子科学、経済・経営学、環境科学、食品生産技術・栄養科学、育種・植物保護学、植物科学及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 2004 年 (平成 16 年) 6 月 23 日 協定締結 今年度 1 名長期留学する		

フランス共和国 ボーベ・ラサール・ポリテクニク学院 Institut Polytechnique LaSalle Beauvais

	FESIA 加盟大学であった ISAB (Institut Supérieur d'Agriculture de Beauvais) と 1959 年に創立された IGAL (Institut Géologique Albert-de-Lapparent) が 2006 年 9 月 1 日に合併した大学。	創立 1855 年 教員数 63 名 学生数 1,370 名 学部等 農業、食品産業、栄養学、地質学、環境の分野
☆東京農業大学との関係☆ 2007 年 (平成 19 年) 8 月 27 日 協定締結 現在 1 名長期留学中		

タンザニア連合共和国 ソコイネ農業大学 Sokoiné University of Agriculture

	モロゴロのメインキャンパスをはじめ、4 つのキャンパスがある。メインキャンパスのあるモロゴロはウルグル山地の裾野に位置し、総面積は 3,350 ヘクタール。	創立 1984 年 教員数 333 名 学生数 2,856 名 学部等 農学、科学、森林自然環境保全、獣医学の 4 学部及び大学院
☆東京農業大学との関係☆ 2009 年 (平成 21 年) 4 月 6 日 協定締結 今年度 1 名長期留学する		

海外姉妹校交流展 同時開催 留学生イベントのご案内

4月10日(土) モンゴル

4月17日(土) インドネシア

4月24日(土) 中国

5月 1日(土) 南米

5月 8日(土) ベトナム

開催時間：12:00～13:00

会 場：「食と農」の博物館

2階 セミナー室

開催内容：東京農業大学に在籍している留学生が民族衣装を纏い自国の一品料理を作り、来場された皆様に自国の紹介を行います。

※事前申し込み不要



世界につながる東京農大 ～海外姉妹校交流展～

■企画：東京農業大学 国際協力センター

■協力：東京農業大学教育後援会

■展示実行委員会

委員長：飯山 禮文

委員：藤本 彰三、三原真智人、上原万里子、夏秋 啓子、崎村 徹
古田和歌子、松村 和哉、大石 康代、河邊久美子、岩崎 敦子

これからの展示

■常設展

「稲に聞く」リニューアル展示 2010年3月26日(金)～

■特別展

「農大探検部50年のあゆみ」2010年3月26日(金)～4月25日(日)

花ひらき、美しく舞う緑の「造園文化」展

～江戸・明治に見るはじめて物語り～ 2010年4月28日(水)～9月12日(日)

教育GP「山村再生プロジェクト写真展」2010年5月12日(木)～6月13日(日)

「エミュー」展 2010年6月18日(金)～9月12日(日)